

4-5 宗教学

研究・教育活動の概要と特色

大正13年(1924)7月に宗教学講座として開設された宗教学専攻分野の現代の特色は、昭和13年(1938)に就任した二代教授の石津照璽によりその方向付けがなされたものと言える。それは人間存在の基礎的場面における宗教性や宗教の根拠の追究を、哲学的・思想的な人文科学的宗教研究と、フィールドワークに基づく社会学的・人類学的・民俗学的な社会科学的宗教研究との統合の中に志向するところにあった。宗教現象を単に“個”の内面の問題としてだけ捉えるのではなく、また“群”としての集団の問題としてだけ捉えるのではなく、その両側面に目を配りながら包括することを志向する研究視角は、その後の伝統として本専攻分野の教育システムの中に取り入れられており、ここから巣立った研究者の中にそれぞれの個性を活かした形に花開いている。

研究生・聴講生を含め、本講座にこれまで在籍した学生・院生の総数は400名を越えている。現在の学部定員は一学年10名であるが、近年は定員を上回る進学希望者が継続しており、全員の希望に応じられない状態が続いている。大学院に関しては、本学からの進学者のみならず、国内外の大学を卒業した日本人や海外からの留学生、さらには教員や脚本家、医師などの社会人を経た社会人など、実に多様なメンバーで構成されている。

組織

1 教員数(2011年9月末現在)

教授：1

准教授：2

教授：鈴木岩弓

准教授：木村敏明・山田仁史

2 在学生数(2011年9月末現在)

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
33	1	8	11	0

3 修了生・卒業生数（2007～2011年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
07	11	3	4
08	10	5	0
09	11	3	1
10	10	5	3
11	0	0	0
計	42	16	8

* 2011年度は、9月末までの数字

過去5年間の組織としての研究・教育活動（2007～2011年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
07	3	0	3
08	0	1	1
09	1	0	1
10	2	1	3
11	0	0	0
計	6	2	8

* 2011年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

諸岡了介、2007年度、『世俗化論の構想力 宗教社会学の現代的可能性』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤嘉倫、講師・山田仁史

Andrews, Dale Kenneth、2007年度、『District “N” of H”City :A Cultural and Religious Survey』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・嶋陸奥彦、准教授・木村敏明、講師・山田仁史

滝澤克彦、2007年度、『モンゴルにおける「宗教」のポスト社会主義 キリスト教福音派の台頭をめぐって』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、
講師・山田仁史、教授・岡洋樹（東北アジア研究センター）

菊地和博、2008年度、『シシ踊り鎮魂供養の研究』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・嶋陸奥彦、准教授・木村敏明
Klautau, Orion、2009年度、『近代思想史としての仏教学—国民国家と僧風刷新の
歴史記述—』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、准教授・木村敏明、
准教授・山田仁史、教授・林 淳（愛知学院大学）

間宮啓壬、2010年度、『日蓮における宗教的自覚と救済—「こころみ」の宗教—』

審査委員：教授・鈴木岩弓（主査）、教授・佐藤弘夫、教授・戸島貴代志
大村哲夫、2010年度、『ホトケの救済に関する宗教心理学的研究 悟り・現世利
益・終末期のヴィジョン 』

審査委員：教授・鈴木岩弓、教授・桜井宗信、准教授・木村敏明、准教授・
山田仁史

佐藤慎太郎、2010年度、『近代の克服 エリアーデ宗教学の形成過程とその展開 』

審査委員：教授・鈴木岩弓、教授・後藤敏文、准教授・木村敏明、准教授・山
田仁史

2 大学院生等による論文発表

2-1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
07	14	3	1	1	19
08	10	3	1	3	17
09	15	5	4	7	31
10	9	2	1	6	18
11	2	2	0	0	4
計	50	15	7	17	89

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
07	0	23	4	1	28
08	1	25	7	1	34
09	2	35	11	3	51
10	4	26	3	1	34
11	0	12	3	0	15
計	7	121	28	6	162

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

阿部友紀「ある一漁民の祈願と生業 山形県鶴岡市由良地区にみる」『東北宗教学』第3号、東北大学宗教学研究室、2007年12月

鈴木文子「セビヨの著作にみる動物の『二元論的創造』」『東北宗教学』第5号、東北大学宗教学研究室、2009年12月

茂木謙之介「聖なる皇族 研究序説 昭和戦前・戦中期宮城県 御成 の報道分析を中心に」『東北宗教学』第5号、東北大学宗教学研究室、2009年12月

相澤里沙「民族/民の信仰」の発見 カルティニにおけるジャワの近代化と宗教」『南方文化』第36輯、天理南方文化研究会、2009年12月

佐藤慎太郎「M. エリアーデにおけるブランクーシ解釈 「聖なるものの偽装」と現代芸術」『論集』第36号、印度学宗教学会、2009年12月

澤井治郎「ティリッヒの宗教的象徴論に見る『究極的関心』」『論集』第36号、印度学宗教学会、2009年12月

小田島建己「奉納のエコノミー 死者の結婚 をプロモートするもの」『東北文化研究室紀要』第51集、東北大学大学院文学研究科、2010年3月

小林輝之「戦没者追悼の現在 宮城県塩竈市浦戸桂島地区の場合」『東北文化研究室紀要』第51集、東北大学大学院文学研究科、2010年3月

クラウタウ、オリオン「日本仏教 の誕生 村上専精とその学問的営為を中心に」『日本思想史研究』第42号、2010年3月

大村哲夫「死者のヴィジョンをどう捉えるか—終末期における死の受容とスピリチュアル・ケア」『論集』第37号、印度学宗教学会、2010年12月

栗田英彦「岡田式静坐法と国家主義—二荒芳徳を通じて」『論集』第37号、印度

学宗教学会、2010年12月

斎藤喬「クリステヴァにおける唾棄すべきものの宗教性」『文化』第74巻3・4号、東北大学文学会、2011年3月

澤井真「ジュナイドの『原初の契約』におけるファナーとバカー」『オリエント』第54巻2号、社団法人日本オリエント学会、2011年。

土佐美菜実「『伝統』の継承と法典化を目指して—ネイティブ人類学者B・サンディにおけるアダット—」『文化』第75巻第1・2号、2011年9月

(2) 口頭発表

AIZAWA, Risa, "Culture and Religion: Koentjaraningrat's idea of "Religi,"" XXth World Congress of the International Association for History of Religion, University of Toronto, August 20, 2010."

阿部友紀「祈祷寺院における聖地空間の再編と信者のニーズ」日本宗教学会第70回学術大会、2011年9月4日

大蔵徳幸「現代の弥治郎集落にみる木地屋のアイデンティティ」印度学宗教学会第53回学術大会、大阪国際大学、2010年5月30日

小田島建己「川倉賽の河原地蔵尊」にみる花嫁・花婿人形 死者の結婚を表現するモノ」日本民俗学会第61回年会、國學院大學、2009年10月4日

大村哲夫「生活の中の死—地域社会での看取りを考える」日本医学哲学・倫理学会第29回大会企画シンポジウム、岩手医科大学、2010年

KLAUTAU, Orion. "The Discourse on Edo-period Buddhist Decadence: its Modern formation and historical meaning" International Conference Perspectives on Religion and Ritual in Early Modern Japan, Leiden University, The Netherlands, June 2, 2009.

黄緑萍「流行神をめぐる一考察」日本宗教学会第70回学術大会、関西学院大学、2011年9月4日

KURITA, Hidehiko. "Beyond Religion and Medical Science: Kobayashi Sanzaburo's Ideas on Healing", The XXth IAHR World Congress, University of Toronto, August 19, 2010.

小林輝之「死者の力 須賀川市における円谷幸吉をめぐる人々」東北民俗の会、2009年12月

斎藤喬「J.M.シャルコーの神経学と悪魔祓い」、日本宗教学会第63回学術大会、東洋大学、2010年9月4日

- 佐藤慎太郎「M. エリアーデのルーマニア時代 学的基盤の確立と思想的背景」
印度学宗教学会第53回学術大会、大阪国際大学、2010年5月30日
- SAWAI, Jiro, "The "Dimension of Depth" in Reinhold Niebuhr and Paul Tillich," XXth
World Congress of the International Association for the History of Religions,
University of Toronto, August 19, 2010
- SAWAI, Makoto, "The Concept 'dīn' and Its Meaning in Religious Studies: Toshihiko
Izutsu's Interpretation." The 20th World Congress of the Association for the History
of Religions, University of Toronto, August 19, 2010.
- 鈴木文子「ブルターニュの『神』と『悪魔』」第849回2009年度民俗学関係修士
論文発表会、成城大学、2010年5月9日
- 土佐美菜実「戦後のサラワクにおける人類学とアダット」日本宗教学会、2011年
9月4日
- 茂木謙之介「皇族と地方 宮城県 御成 を事例に」東北大学国史談話会2009
年度大会、東北大学、2009年6月13日
- 森田未咲「インドの月神話からみる世界観」印度学宗教学会、2010年5月

3 大学院生・学部生等の受賞状況

- (社)全日本冠婚葬祭互助協会第9回社会貢献基金助成金 小田島建己「死者
の結婚式 東北地方における「冥婚」習俗の比較研究」、99万8千円、
2008年
- 大畠記念宗教史学研究助成基金、佐藤慎太郎、「ルーマニア期エリアーデの活
動とその展開—人間観・学問観を中心に—」、35万円、2008年
- 東北開発記念財団海外派遣援助、佐藤慎太郎「ルーマニア期エリアーデの活動
とその展開 人間観・学問観を中心に」、30万円、2009年
- 科学研究費補助金(特別研究費)、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治
癒」と「救い」のコスモロジー」、120万円、2009年
- 国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる
「治癒」と「救い」のコスモロジー」、30万円、2009年
- 東北開発記念財団海外派遣援助、相澤里沙「インドネシア第一世代人類学者に
おける「宗教」概念の成立に関する研究」、18万円、2010年
- 大畠記念宗教史学研究助成基金、相澤里沙「インドネシア第一世代人類学者に
おける「宗教」概念の形成と展開」、35万円、2010年
- 松下幸之助記念財団研究助成、相澤里沙「オランダ民族学における宗教をめぐ

る学知の形成 インドネシアの「アニミズム」と「アダット」」、50万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、80万円、2010年

国際高等研究院「博士研究教育院生」、栗田英彦、「「宗教的」講集団にみる「治癒」と「救い」のコスモロジー」、63万円、2010年

東北開発記念財団海外派遣援助、澤井治郎、「現代アメリカにおけるキリスト教神学と政治」、25万円、2010年

科学研究費補助金（特別研究費）、澤井真、「イスラームの思想と信仰に関する宗教学的的研究」、50万円、2010年

Harvard-Yenching Institute (Visiting Fellow), Hidehiko KURITA, “The Formation and Development of Okada Torajirō’s Method of Still-Sitting: The Relationship between Spiritual Ideas and Bodily Techniques in Modern Japan,” 21,249USD, 2011.

大畠記念宗教史学研究助成基金、澤井真、「クルアーン解釈の思想史的展開—『原初の契約』を中心に—」、35万円、2011年

斉藤稜兒イスラム研究助成基金、澤井真、「クルアーンの解釈学的パースペクティヴに関する思想史的研究」、50万円、2011年

東北開発記念財団海外派遣援助金、澤井真、「初期イスラームにおけるクルアーン解釈」、25万円、2011年

4 日本学術振興会研究員採択状況

2007年度	DC 受入	1人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)
2008年度	RPD 採用	1人	(本研究室生の他部局への採用)
	DC 受入	1人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)
2009年度	DC 受入	1人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)
2010年度	外国人特別研究員 採用	1人	(本研究室生の他部局への採用)
2011年度	DC2 受入	1人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)
	DC1 受入	1人	(本研究室生の本研究室への採用・受入)
	DC1 採用	1人	(本研究室生の他大学への採用)

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部学生等の留学数

2009年度、学部、ストックホルム大学、スウェーデン

2011 年度、大学院、トリブヴァン大学、ネパール

2011 年度、大学院、マレーシア国際イスラーム大学

2011 年度 大学院 ハーヴァード大学イェンチン研究所

5-2 留学生の受け入れ状況（学部・大学院）

年度	学部	大学院	計
07	1	0	1
08	1	1	2
09	2	1	3
10	1	3	4
11	1	2	3
計	6	7	13

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
07	1	0	1
08	1	0	1
09	0	0	0
10	0	0	0
11	0	0	0
計	2	0	2

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人

7-1 専攻分野出身の研究者

内館牧子：ノースアジア大学 客員教授 2006 年度

アンドリュース・デール：金沢大学 准教授 2007 年度

諸岡了介：島根大学 講師 2008 年度

滝澤克彦：東北大学 助教 2008 年度

7-2 専攻分野出身の高度職業人

金丸謙一郎：高等学校教員

大角 修：宗教評論家

加藤 寛：瑞鳳殿学芸員

8 客員研究員の受け入れ状況

国立インドネシア大学講師 Etty Nurhayati ANWAR 2006年7月3日～2007年
1月31日

国立インドネシア大学講師 Ike Iswary Lawanda 2008年8月1日～9月30日

国立北スマトラ大学教授 Hamzon SITUMORANG 2011年6月22日～9月17日

9 外国人研究者の受け入れ状況

2007年 0人

2008年 1人

2009年 0人

2010年 1人

2011年 1人

10 刊行物

2007年 『東北宗教学』第3号

2007年 『軍都仙台』（平成17・18年度宗教学実習報告書）

2008年 『東北宗教学』第4号

2009年 『東北宗教学』第5号

2010年 『東北宗教学』第6号

2011年 『東北宗教学』第7号

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2007年

印度学宗教学会事務局

2008年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

2009年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

2010年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

日本民俗学会第 62 回年会実行委員会事務局

2011 年

印度学宗教学会事務局

東北民俗の会事務局

「心の相談室」事務局

1 2 専攻分野主催の研究会等活動状況

【2007 年度】

第 77 回宗教学研究会：2007 年 6 月 29 日 東北大学

森謙二（茨城キリスト教大学）「戦没者慰霊 靖国・沖縄・その他」

第 78 回宗教学研究会：2008 年 1 月 16 日 東北大学

Gereon Kopf（ルーサー大学准教授）‘The Status of Religious Studies in the U.S.A.’

第 79 回宗教学研究会：2008 年 1 月 28 日、東北大学

小野和子（宮城民話の会）「長者原の民話調査から」

【2008 年度】

第 80 回宗教学研究会：2008 年 4 月 9 日 東北大学

Muhammad Haji Salleh（サインス大学教授）「Pantun の社会的機能」

第 81 回宗教学研究会：2008 年 5 月 30 日 東北大学

伊達聖伸（日本学術振興会特別研究員）「オーギュスト・コントの死者
崇拝 - 生者と死者の関係」

第 82 回宗教学研究会：2008 年 7 月 7 日 東北大学

佐藤千尋「何のための「ペット供養」か 判例にみる「ペット供養」の
宗教性」

第 83 回宗教学研究会：2008 年 10 月 31 日 東北大学

シンポジウム「写真と民俗」

川口葉子「クリスチャンの家族写真」

小田島建己「写真が表すもの 東北地方の宗教民俗」

石山祥子「被写体としての＜黒川能の里＞」

鈴木岩弓「飾られた人物写真が語る＜意味ある他者＞」

川村邦光「残された一葉：原爆死者と生き残りの家族写真」

渡邊慎也「非活字メディア史料保存の問題点」

【2009 年度】

第 84 回宗教学研究会：2009 年 10 月 9 日 東北大学

SUZUKI Hikaru “Transformation of Japanese Way of Dying”

第 85 回宗教学研究会：2010 年 1 月 22 日 東北大学

天野和公（みんなの寺坊守）「みんなの寺 開山記」

第 86 回宗教学研究会：2010 年 3 月 24 日

小田島建己（東北大学大学院後期課程）“Affectionate Communion in the
"Marriage of the Dead”

Grégory Delaplace (University of Cambridge, Research associate) “Forgetting
the dead in Mongolian ‘fields of silence’: The expanding cemeteries of
Ulaanbaatar”

【2010 年度】

第 87 回宗教学研究会：2010 年 4 月 23 日

山形孝夫（宮城学院女子大学名誉教授）「黒いマリアの謎 『見えない
宗教』の人類学」

1 3 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

05 年度の後期から講師採用が実現したため、現在の本研究室の教員スタッフは、教授 1・准教授 2 の計 3 名で構成されている。教員組織拡充の背景には、在学生定員が学部大学院の全ての学年において充足していることがある。この動向は 7、8 年前から始まったことで、全学教育における授業の充実化やインターネットによる大学院教育の紹介などが影響しているものと考えられる。

大学院における留学生受入も積極的に行っており、常に複数の外国人留学生が在籍している。また社会人大学院生の受入も積極的に推進しており、これもまた常に在籍している。このような傾向は 8、9 年前からのことで、年齢・性別・国籍・宗教などはもちろん、卒業学部も多岐にわたる現在の研究室は、人間社会全体の縮図にも似たカオスの世界を現出しており、そのような多様性の中で過ごす研究生活は、構成員相互に良い刺激をもたらしているものとする。

組織としての研究・教育活動のうち、まず教育面については、課程博士の授与が 07 年度に 3 名出た。この間継続的に博士後期課程の学生は在学していたが、フィールドワークやディシプリン横断的な研究においては、実質 2 年半で博士論文を書き上げることは非常に困難でたまたまこの年に集中した。これら 3 人は、いずれも就職が決まったことから、博士取得が就職の前提条件となっている現在の趨勢が明らかになるのみならず、ウチの研究室で博士号を取得した人が少なくともこの年に限っては全員が就職できた

ことが示されている。その後課程博士は 09 年度に 1 名、論文博士は 08 年度、10 年度に各 1 名授与されている。

大学院生の業績に変化が見られるようになったのは、04 年度に東京で開催された IAHR (国際宗教学宗教史会議) の第 19 回世界大会がきっかけであった。この時には博士前期の一部を含む博士後期全員が英語もしくはフランス語で口頭発表するよう指導したが、これによりそれまで構成員の多くが持っていた言葉の“壁”の克服に大きな効果があった。以後、論文執筆にせよ口頭発表にせよ、自己の研究内容を他者に如何に伝えるかを意識するようになり、論文発表総数そのものが増加している。その中にはレフリー付きの雑誌への投稿が増え、また口頭発表も英語を用いたものが増えてくるなど、研究領域におけるグローバル化への対応準備が進んでいる。その点で言うと、海外の大学への留学をする者が少ないのが気になるが、長期は少ないものの、三ヶ月未満の短期での調査研究は毎年複数あり、また学部学生の語学研修は毎年見られる。この点の積極的指導も、更に考えねばなるまい。

05 年度以降、学振特別研究員の DC 1 に毎年新たな採用が見られ、PD、RPD を含め、毎年複数の学生が特別研究員となっている。この点は、本研究室の大学院生の実力があるレベルを越えていることを示す証左と思われる。

教員の研究活動 (2007 ~ 2011 年度)

1 教員による論文発表等

1- 1 論文

鈴木岩弓「恐山信仰」『青森県史 8』(民俗編資料下北)青森県、pp.320-327、2007 年

鈴木岩弓「下北地方の巫俗」『青森県史 8』(民俗編資料下北)青森県、pp.335-338、2007 年

鈴木岩弓「現代モンゴルにおける宗教意識」『モンゴルの環境と変容する社会』(東北アジア研究センター叢書第 27 号)東北大学東北アジア研究センター、pp.149-169、2007 年

鈴木岩弓「霊場恐山の“地獄” 佛教在日本伝播的一个側面」『2007 中国靖江宝卷文化国際学術研究会会務手冊』pp.57-69、2007 年

鈴木岩弓「山と神」『登山医学』27、日本登山医学会、pp.7-11、2007 年

鈴木岩弓「『中央公論』にみる『死』の扱いの変化」『論集』、印度学宗教学会、pp.(79)-(98)、2007 年

鈴木岩弓「民間宗教者その他」『岩木川流域の民俗』(青森県史叢書)、青森県、

- pp.165-167、pp.169-170、2008 年
- 鈴木岩弓「柳田國男と仙台」『東北民俗』第 43 輯、東北民俗の会、pp.1-9、2009 年
- 鈴木岩弓「宗教的職能者と民俗信仰」宮本袈裟雄・谷口貢『日本の民俗信仰』八千代出版、pp.133-149、2009 年
- 鈴木岩弓「山寺と死者供養」『山寺』、山形県立博物館、pp.66-70、2009 年
- 鈴木岩弓「写真が語る現代人の絆」岩上真珠・鈴木岩弓・森謙二・渡辺秀樹共著『いま、この日本の家族 絆のゆくえ』、弘文堂、pp.52-89、2010 年
- 鈴木岩弓「家亡き時代の絆の形成 柳田國男における〈家の寿命〉」岩上真珠・鈴木岩弓・森謙二・渡辺秀樹共著『いま、この日本の家族 絆のゆくえ』、弘文堂、pp.182-187、2010 年
- 鈴木岩弓「与半跏趺坐地蔵像有关的民間信仰」『民俗艺术学国际学术研讨会 会议论文集』pp.110-113、2011 年
- 鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活 “あり得べき” 死者の姿」『エジプト・日本学術シンポジウム死者の追悼と文明の岐路 2011 年 予稿集』東京大学、pp.83-94、2011 年
- 木村敏明「キリスト教口頭表現に見る『死』 トバ・バタック移民社会の事例」『東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究』科学研究費補助金研究成果報告書、2007 年
- 木村敏明「トバ・バタック移民社会におけるキリスト教的口頭表現と儀礼」『東北宗教学』vol.2、2007 年
- 木村敏明「東南アジアにおけるキリスト教口頭表現と聖典 - トバ・バタック社会の事例」『論集』34 号、2007 年
- 木村敏明「地震と神の啓示 西スマトラ地震をめぐる語りから」『東北宗教学』vol.5、2010 年
- 山田仁史「奥羽人類学会と東北の信仰・民俗」『東北文化研究室紀要』48: 41-56、2007 年
- 山田仁史「東南アジアにおける 首狩文化複合」中村生雄研究代表者『東アジアにおける人と自然の対抗 / 親和の諸関係にかんする宗教民俗学的研究』平成 16 年度-平成 18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B) 研究成果報告書: 107-162、2007 年
- 山田仁史「神話から見たヒトの起源と終末」野家啓一編『ヒトと人のあいだ』(シリーズヒトの科学 6) 35-62、岩波書店、2007 年

- 山田仁史「台湾原住民神話研究綜述」『中国比較文学』2007年第4期(総第69期):
60-69、2007年
- 山田仁史「金の枝を手折りて フレイザーが遺したもの」『論集』第34号、印
度学宗教学会、pp.(213)-(237)、2007年
- Yamada, Hitoshi, Mythical Little People of Taiwan: Do They Imply the Existence of
Negritos? *Cosmos: The Journal of the Traditional Cosmology Society*, 23: 111-122,
Edinburgh, 2007
- Yamada, Hitoshi, "Chain of Arrows" reconsidered. In: Shinoda, Chiwaki (éd.), *Mythes,
symboles, langues*: 93-102, Nagoya: Librairie Rakuro, 2008
- 山田仁史「台湾原住民における首狩」『アジア民族文化研究』7: 1-101、2008年
- 山田仁史「台湾原住民における星の観念と神話」篠田知和基(編)『星空のロマ
ンス: 比較神話学シンポジウム』: 114-123、甲南大学、2008年
- 山田仁史「焼畑のサイクルと周期的祭儀: サイシャット族パスタアイ(矮靈祭)
の一側面」『台湾原住民研究』12: 3-32、2008年
- 山田仁史「台湾原住民的 野獸之主 観念」『2008 民俗暨民間文學國際學術
研討會論文集』: 255-264、花蓮: 國立東華大學民間文學研究所、2008年
- Yamada, Hitoshi, Tales on the Mole that Shot the Sun: A Comparative Perspective, In:
Shinoda, Chiwaki (éd.), *Mythologie du ciel. Vent—Oiseaux—Etoiles*: 27-42,
Nagoya: Librairie Rakuro, 2009
- Yamada, Hitoshi, Astral Concepts and Folklore among the Austronesian Peoples of
Taiwan, In: Shinoda, Chiwaki (éd.), *Mythes, Symboles, Langues*, II: 63-76, Nagoya:
Librairie Rakuro, 2009
- 山田仁史「伊能嘉矩: 『遠野物語』の先駆者」三浦秀一(編)『東北人の自画像』
(人文社会科学講演シリーズ; 4): 87-128、仙台: 東北大学出版会、2010年
- 山田仁史「盟神探湯の源流再考」『国史談話会雑誌』50: 265-287、仙台: 東北大学
国史談話会、2010年
- 山田仁史「大洪水(Sintflut)と大火災(Sintbrand)の神話」篠田知和基(編)『火
と水の神話: 「水中の火」』: 157-176、名古屋: 楽瑯書院、2010年
- 山田仁史「日月の争いと星々の神話」『説話・伝承学』19: 21-40、2011年
- 山田仁史「台湾のシンデレラ?」篠田知和基(編)『愛の神話学』: 459-480、
名古屋: 楽瑯書院、2011年

1-2 著書・編著

鈴木岩弓編著『東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究』(科研費研究成果報告書:基盤研究(C)(1))、東北大学、pp.323、2007年

鈴木岩弓編著『船形山の民俗 吉田潤之介探訪資料』(東北文化資料叢書第三集)、東北大学大学院文学研究科東北文化研究室、pp.286、2008年

鈴木岩弓共著『いま、この日本の家族 絆のゆくえ』、弘文堂、pp.221、2010年

1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

鈴木岩弓(書評)高松敬吉『民間巫女の系譜』(『うそり』43号別冊)、『東奥日報』2007.7.23

鈴木岩弓(書評)本林靖久『ブータンと幸福論』、『宗教民俗学研究』第17号、pp.153~157、2007年

鈴木岩弓(辞典項目)『神観念の比較文化論的研究』『宗教学文献事典』、p.256、弘文堂

鈴木岩弓(書評)宮家準『神道と修験道』、『山岳修験学会』第41号、2007年

鈴木岩弓(辞典項目)「おくない様」「おしら様」「おせんだく」『祭・芸能大辞典』、朝倉書店、2009年

鈴木岩弓(追悼文)「先生から刺激を受けたこと」『宮本袈裟雄追悼文集』宮本袈裟雄追悼文集刊行会、pp.84-5、2009年

鈴木岩弓・多賀幹子・呉善花(鼎談)「日本の親子はどう変わったのか」『コミュニティ』No.143、pp.10-61、(財)地域社会研究所、2009年

鈴木岩弓(基調講演)「墓からみる民族・国家・宗教の力学」『ノマド化する宗教浮遊する共同性 現代東北アジアにおける『救い』の位相』、東北大学東北アジア研究センター、pp.9-37、2011年

鈴木岩弓・内館牧子(対談)「相撲とイタコと大学院」『現代宗教 2011』、pp.1~16、国際宗教研究所、2011年

鈴木岩弓(教育講演要旨)「死生学とは 現代日本における『死』の扱いの変化」『死の臨床』57日本死の臨床研究会、pp.20-21、2011年

鈴木岩弓「大学院時代の大城公男さん」『がじゅまる通信』No.68、榕樹書林 2011年

木村敏明「東南アジアの食と祭り」千草眞一編『食に見る世界の文化』東北大学

出版会、2007年

木村敏明「トバ・バタックの儀礼および祈祷会における説教と祈り」『東南アジア多民族都市社会における死生観の動態に関する宗教学的的研究』科学研究費補助金研究成果報告書、2007年

木村敏明「祈りと記憶」『宗教研究』355号、2008年

木村敏明「山本春樹著『バタックの宗教』」『宗教研究』356号、2008年

木村敏明「宣教師伝の成立と現地社会」『宗教研究』359号、2009年

木村敏明「祈りににおける「かたどり」と「ちから」-レーウの宗教論から」『宗教研究』363号、2010年

木村敏明「シンクレティズム」、『宗教学事典』（島園進 編、丸善）、2010年

木村敏明「シンガマンガラジャ」「デウィ・スリ」「アンタボガ」「イラ・イライ・ランギト」「ディディス・マヘンデラ」「バタラ・グル」「パロン」「ムラジャディ」「ランダ」「ロロ・キドウル」『事典世界の神々』白水社、印刷中

木村敏明「インドネシアから考えるわたしたちと宗教」、『学問で世界をめぐる』、東北大学出版会、印刷中

山田仁史「台湾に蛇神判はあったか」『台湾原住民研究』11: 229-234、2007年

山田仁史「歴史的関係か独立発生か：似た神話の説明原理をめぐる諸問題」『宗教研究』80(4): 99-100、2007年

山田仁史（書評）「広い射程で自然と人間の関係を問う 中村生雄・三浦佑之・赤坂憲雄編『狩猟と供犠の文化誌』」『季刊東北学』13: 208-210、2007年

山田仁史「大林太良の仕事：著作の森を歩く」『ビオストーリー』8: 72-81、昭和堂、2007年

山田仁史「宇野圓空『マライシアに於ける稲米儀礼』」島園進／石井研士／下田正弘／深澤英隆（編）『宗教学文献事典』:66、弘文堂、2007年

山田仁史（書評：松村一男・山中弘編『神話と現代』）「多様な物語を神話として考察：現代社会における「神話」の可能性」『週刊読書人』2726号（2008年2月22日号）: 3、2008年

山田仁史「宗教民族学における神話研究の位置」『宗教研究』81(4): 177-178、2008年

山田仁史（訳）フルトクランツ、オーケ「シャマニズムの研究史」岩田美喜／竹内拓史（編）『ポストコロニアル批評の諸相』: 165-200、東北大学出版会、2008年

山田仁史（訳）陶思炎「中国湖北省荊州市にて「河童犬」に似た石刻物を発見」

- 『東北民俗』42: 92, 2008 年
- 山田仁史「伝播主義：古典を学ぶ（2）」日本文化人類学会（編）『文化人類学事典』: 730-733, 丸善, 2009 年
- メンヒェン＝ヘルフェン、オットー「太陽を射る話（上）」山田仁史（訳・註）、『比較民俗学会報』29(3): 9-20, 2009 年
- メンヒェン＝ヘルフェン、オットー「太陽を射る話（下）」山田仁史（訳・註）、『比較民俗学会報』29(4): 1-8, 2009 年
- 山田仁史（書評：ロバート・アッカーマン著『評伝 J・G・フレイザー その生涯と業績』）「古典的名著誕生の舞台裏――さまざまな発見に導く：フレイザーのイメージを一新する労作」『週刊読書人』2778号（2009年3月6日号）: 3, 2009 年
- 山田仁史「Eduard Stucken（1865-1936）の神話研究」『宗教研究』82(4): 1331-1332, 2009 年
- 山田仁史「本当に祈っているのか」（私の視点：国宝・合掌土偶；3）、『デリー東北』2009年5月14日: 11, 2009 年
- 山田仁史「環太平洋に開かれた窓」（私の視点：国宝・合掌土偶；3）、『デリー東北』2009年5月21日: 11, 2009 年
- 山田仁史「台湾の焼畑」『アジア・日本研究センター紀要』5: 171-174, 町田：国土館大学アジア・日本研究センター, 2010 年
- 山田仁史「狩猟民の神話と世界観：動物の主 再考」『宗教研究』83(4) [363]: 1549-1550, 2010 年
- 山田仁史「水をめぐる神話学：活かす水と滅ぼす水」『人と水：連携研究「人と水」研究連絡誌』8: 2-5, 京都：昭和堂, 2010 年
- 山田仁史「神意問う裁判の史跡たどる：書評 清水克行著『日本神判史 盟神探湯・湯起請・鉄火起請』中公新書」『東京新聞』2010年7月11日
- 山田仁史「日本における民族学的神話研究」『宗教研究』84(4) [367]: 968-969, 2011 年

1-4 口頭発表

- 鈴木岩弓「山と神」第27回登山医学会特別講演講師、宮城蔵王ロイヤルホテル、2007年6月2日
- 鈴木岩弓「霊場恐山にみる『地獄』 日本における仏教受容の一側面」2007 中国靖江宝卷文化国際学術研究会、中国江蘇省靖江市 2007 年 8 月 25 日

- 鈴木岩弓「『もの言う』死者」日本宗教学会第 66 回学術大会パネル発表「死と死者の表象」、立正大学、2007 年 9 月 16 日
- 鈴木岩弓「東アジアにおける『民間信仰』概念の展開」東アジア宗教文化学会第一回大会、東義大学校（韓国）、2008 年 8 月 2 日
- 鈴木岩弓「死者をカミと祀る習俗の展開」日本宗教学会第 67 回学術大会、筑波大学、2008 年 9 月 15 日
- 鈴木岩弓「東北地方における『骨葬』の受容」日本民俗学会第 60 回年会、熊本大学、2008 年 10 月 5 日
- 鈴木岩弓「死をめぐる世相史」タナトロジー研究会、2009 年 5 月 22 日
- 鈴木岩弓「Individuality through the Display of Personal Photos of the Dead」DDD9(The Ninth International Conference, The Social Context of Death, Dying and Disposal) Durham University, September 11, 2009.
- 鈴木岩弓「シンポジウム東北のオシラ神を探る」共同討議コーディネーター、2009 年 9 月 19 日
- 鈴木岩弓「民俗の仏教化—寺院行事化する「もり供養」—」日本民俗学会第 61 回年会、2009 年 10 月 4 日
- 鈴木岩弓「霊場恐山にみる他界の構造」日本宗教民俗学会創立 20 周年記念シンポジウム、2010 年 6 月 12 日
- 鈴木岩弓「生老病死にみる民俗の変化」日本民俗学会第 62 回年会公開シンポジウム：コーディネーター、2010 年 10 月 2 日
- 鈴木岩弓「死生学について」第 34 回日本死の臨床研究会：教育講演、2010 年 11 月 6 日
- 鈴木岩弓「与半跏趺坐地藏像有关的民間信仰」、民俗艺术学国际学术研讨会 2011 年 9 月 10 日
- 鈴木岩弓「東日本大震災にみる土葬の復活 “あり得べき” 死者の姿」、東京大学 GCOE：エジプト・日本学術シンポジウム死者の追悼と文明の岐路 2011 年、2011 年 9 月 23 日
- Kimura Toshiaki, “Social Aspects of Christian Oral Practices –Kingship, Ritual and Christianity among Toba Batak Immigrants in Medan, Sumatra”, Harvard Yenching Institute Asian Cultures Seminar, Harvard University, 2007
- Kimura Toshiaki, “Christian Prayer Practice in Indonesian Urban Context –Toward an anthropology of Christianity”, Harvard Divinity School Center for the study of World Religions, World Religions Café Series, Harvard University, 2007

- Kimura Toshiaki, "Kinship, Ritual and Christianity-A Case Study of Grass Roots Prayer Groups of Toba Batak immigrants in Medan, Sumatra," Harvard Yenching Institute End-of-year Seminar "Religion, Popular Culture and Social Changes in Asia," Harvard University, 2007
- 木村敏明「祈りと記憶 トバ・バタック移民社会におけるキリスト教と慣習法」日本宗教学会第 66 回学術大会、立正大、2007 年
- 木村敏明「『宣教師伝』の成立と現地社会 スマトラ宣教の事例より」日本宗教学会第 67 回学術大会、筑波大、2008 年
- 木村敏明「トバ・バタック移民社会における慣習法的実践の再編とキリスト教」『宗教と社会』学会、創価大、2009 年
- Kimura Toshiaki, "Functional Changes of Ethnic Associations among Toba Batak Immigrants in Medan, Sumatra", Society for East Asian Anthropology, Academia Sinica; Taiwan, 2009
- Kimura Toshiaki, "Social Change and Transformation of Toba Batak 's Ethnic Associations in Medan, Sumatra", International Convention of Asia Scholars 6, Daejeon Convention Center; Korea, 2009
- 木村敏明「祈りににおける「かたどり」と「ちから」 - レーウの宗教論から」日本宗教学会第 68 回学術大会、京都大学、2009 年
- Kimura Toshiaki, "Religion and Social Agricultural Change in Tropical Asia", NAFRI Seminar, National Agricultural and Forestry Research Institute: Lao PDR, 2009
- 木村敏明「宗教文化教育に求められるもの 大学教員の立場から」シンポジウム「宗教文化教育に求められるもの」、國學院大學、2010 年
- 木村敏明「宗教学からみた「幸福」 - トバ・バタック社会の事例より」第 3 回「人間と地球と緑」研究会、総合地球環境学研究所、2010 年
- 木村敏明「国家・文化・宗教 アブドゥルラフマン・ワヒドの寛容思想」印度学宗教学会課題研究「宗教と寛容」、大阪国際大学、2010 年
- 木村敏明「集団合宿調査の理念と現実 東北大学宗教学実習の試み」第 2 回宗教文化の授業研究会、國學院大學、2010 年
- 木村敏明「人間と地球と緑のあり方 文化的関わり」中日学者草原生態問題学術座談会、内モンゴ社会科学院：中国、2010 年
- 木村敏明「宗教文化教育の意義と位置を模索して」「宗教学教育の現状と課題」研究会、大正大学、2010 年
- 木村敏明「天災・神災・人災 西スマトラ地震をめぐる語りの分析から」日本宗

- 教学会、東洋大学、2010 年
- Kimura Toshiaki, “Pesta Perkawinan di dalam Masyarakat Jepan” 日本文化セミナー、
北スマトラ大学：インドネシア、2010 年
- 木村敏明「公共を模索する宗教 東日本大震災後の動向から」公共哲学京都フォーラム、神戸ポートホテル、2011 年
- 山田仁史「台湾原住民における首狩」アジア民族文化学会第 13 回春季大会、東京：
共立女子大学・短期大学、2007 年
- 山田仁史「東南アジアにおける首狩」第 50 回印度学宗教学会学術大会、吹田：関
西大学、2007 年
- 山田仁史「Mythical little people in Taiwan: Do they imply the existence of Negritos?」
DHS: Conference on the Deep History of Stories, The joint conference of The
International Association for Comparative Mythology and The Traditional
Cosmology Society. Edinburgh: The University of Edinburgh, 2007
- 山田仁史「“Chain of Arrows” reconsidered」Le voyage vers le ciel: International
Symposium in Comparative Mythology. Kyoto: Hanazono University, 2007
- 山田仁史「宗教民族学における神話研究の位置」日本宗教学会第 66 回学術大会、
東京：立正大学、2007 年
- 山田仁史「台湾原住民における首狩の諸相」日本文化人類学会第 42 回研究大会、
京都：京都大学、2008 年
- 山田仁史「神話研究の可能性」第 51 回印度学宗教学会学術大会、仙台：宮城学院
女子大学、2008 年
- 山田仁史「台湾原住民の神話と首狩」第 2 回仙台台湾研究会、仙台：東北大学、
2008 年
- 山田仁史「Eduard Stucken (1865–1936) の神話研究」日本宗教学会第 67 回学術大
会、つくば：筑波大学、2008 年
- 山田仁史「台湾原住民的神話與獵頭」中華文史哲藝教學與研究新視野專案、台北：
東吳大學、2008 年
- 山田仁史「台湾原住民的 野獸之主 觀念」2008 民俗暨民間文學國際學術研討會、
花蓮：東華大學、2008 年
- 山田仁史「台湾原住民のイメージと首狩文化：虚像と実像」グローバルCOE「社
会階層と不平等教育研究拠点の世界的展開」ワークショップ、仙台：東北大学、
2009 年
- 山田仁史「神話における太陽・月・星の関係」環太平洋神話研究会・南山大学記

- 念大会, 名古屋: 南山大学, 2009 年
- 山田仁史「オランダ民族学・宗教学と台湾原住民研究」順益台湾原住民研究会, 東京: 日本大学, 2009 年
- 山田仁史「狩猟民の神話と世界観: 動物の主 再考」日本宗教学会第 68 回学術大会, 京都: 京都大学, 2009 年
- 山田仁史「台湾の焼畑」国土舘大学アジア・日本研究センター / 総合地球環境学研究所・里プロジェクト共催シンポジウム「アジアの焼畑から何が見えるか」、東京: 国土舘大学梅ヶ丘新校舎, 2009 年
- 山田仁史「台湾原住民有關星辰的觀念與神話」2009「新世紀神話研究之反思」國際學術研討會、台中: 中興大學, 2009 年
- Yamada, Hitoshi, “Doing Taiwan Yuanzhumin (YZM) Studies as an Outsider: A Cultural-Historical Perspective,” International Symposium on Taiwan Studies: Past, Present, and Future, Sendai: Tohoku University, 2009
- 山田仁史「大洪水 (Sintflut) と大火災 (Sintbrand) の神話」2010 年比較神話学シンポジウム「水の中の火」、名古屋: 南山大学, 2010 年
- 山田仁史「シャマニズムにおける弓の使用について」第 3 回東北シャマニズム研究会、仙台: 東北大学, 2010 年
- 山田仁史「コメント: シャマニズムをどうとらえるか」東北シャマニズム研究会シンポジウム「シャマン的世界のリアリティをどうとらえるか」、仙台: 東北大学, 2010 年
- 山田仁史「日月の争いと星々の神話」説話・伝承学会 2010 年度春季大会公開シンポジウム「宇宙の神話- 太陽・月・星-」、京都: 花園大学, 2010 年
- 山田仁史「台湾原住民における焼畑」プロジェクト「農業が環境を破壊するとき: ユーラシア農耕史と環境」全体会議、京都: 総合地球環境学研究所, 2010 年
- 山田仁史「天体神話の諸問題」第 53 回印度学宗教学会学術大会、守口: 大阪国際大学守口キャンパス, 2010 年
- 山田仁史「18 世紀から 19 世紀にかけての比較神話研究」日本シェリング協会第 19 回大会、横浜: 神奈川大学, 2010 年
- Yamada, Hitoshi, “Japanese Mythology from Ethnological Perspectives,” XXth World Congress of the International Association for the History of Religions, Toronto: University of Toronto, 2010
- Yamada, Hitoshi, On the Origin of Ordeals in Japan, Le crime et le châtiment dans la

mythologie, Osaka: Osaka University, 2011

山田仁史「台湾のシンデレラ？」比較神話学シンポジウム：のろわれた愛、名古屋：名古屋市市政資料館、2011年

山田仁史「日本と周囲諸地域のシャマニズムにおける弾弓」東北シャマニズム研究会国際シンポジウム「身体的実践としてのシャマニズム」仙台：東北大学、2011年

2 教員の受賞歴（2007～2011年度）

なし

教員による競争的資金獲得（2007～2011年度）

（1）科学研究費補助金

2009年度

科学研究費補助金 基盤研究（B）鈴木岩弓（研究代表者）「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 <個>と<群>の相克」

科学研究費補助金 研究成果公開促進費（データベース）鈴木岩弓（研究代表者）「東北研究データベース」

科学研究費補助金 若手研究（B）山田仁史（研究代表者）「神話にみられるヒトと自然の相互関係- 東アジア基層文化の宗教民族学的研究-」

2010年度

科学研究費補助金 基盤研究（B）鈴木岩弓（研究代表者）「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 <個>と<群>の相克」

科学研究費補助金 基盤研究（C）鈴木岩弓（研究分担者）「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究（C）木村敏明（研究代表者）「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 若手研究（B）山田仁史（研究代表者）「神話にみられるヒトと自然の相互関係- 東アジア基層文化の宗教民族学的研究-」

科学研究費補助金 基盤研究（A）山田仁史（研究分担者）「東アジアにおける家畜の伝播とその展開に関する動物考古学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究（C）山田仁史（研究分担者）「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究（A）山田仁史（連携研究者）「世界神話二元構

造の研究」

2011 年度

科学研究費補助金 基盤研究(B) 鈴木岩弓(研究代表者)「わが国葬送墓制の現代的变化に関する実証的研究 <個>と<群>の相克」

科学研究費補助金 基盤研究(B) 鈴木岩弓(連携研究者)「宗教文化教育の教材に関する総合研究」(研究代表者・井上順孝)

科学研究費補助金 基盤研究(C) 木村敏明(研究代表者)「ポスト災害社会における宗教の役割に関する宗教学的的研究」

科学研究費補助金 基盤研究(B) 木村敏明(研究分担者)「宗教文化教育の教材に関する総合的研究」

(2) その他

2007 年度

研究科長裁量経費「ゴミの文化学」鈴木岩弓(代表)

2008 年度

研究科長裁量経費「いま、方言が面白い！」鈴木岩弓(代表)

2009 年度

研究科長裁量経費「死を見つめる心 現代東北の葬送習俗」鈴木岩弓(代表)

大畠記念宗教史学研究助成基金「クラウド・ホック著『宗教学入門』の翻訳・出版」山田仁史(代表)

2011 年度

研究科長裁量経費「柳田國男と東北大学」鈴木岩弓(代表)

教員による社会貢献(2007～2011 年度)

【鈴木岩弓】

<委員>

- ・青森県史編さん調査研究員(2007 年度～現在)
- ・仙台市市民文化事業団理事(2007 年度～現在)
- ・相馬市史編さん委員(2007 年度～現在)
- ・岩沼市史編集専門部会(民俗学)調査執筆員(2009 年度～現在)
- ・宗教文化教育推進センター運営委員(2010 年度～現在)

・宗教文化教育推進センター監査（2010年度～現在）

< 公開講座等の講師 >

- 2007年2月6日「群の葬儀から個の葬儀へ」, NHK文化センター講師
- 2007年2月13日「墓が語る現代」, NHK文化センター講師
- 2007年2月20日「あの世からの眼差し 死者の写真を飾る習俗」, NHK文化センター講師
- 2007年6月11日「郷土の信仰」仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師
- 2008年4月25日「文学部で学ぶとは」, 泉館山高校, 出前授業講師
- 2008年8月30日「祈りの風景 大和町の民間信仰」第四回郷土史講座講師
- 2008年9月5日「郷土の信仰」仙台豊齢学園ふるさと文化コース講師
- 2009年2月22日「生者と死者の新たな関係」平成20年度市史編さん事業講演会（南相馬市）講師
- 2009年4月19日「墓からみた東アジアの死生観」みやぎ霊園ふれあいゼミナール第8回講演会講師
- 2009年8月8日「山寺と死者供養」山形県立博物館 講演会講師
- 2009年11月14日「葬儀社アンケートから見た東北地方の葬送文化」東北文化公開講演会 シンポジウム「死を見つめる心—現代東北の葬送文化—」, パネリスト
- 2010年3月2日「日本人的信仰観」, 中国：東南大学外国語学院学術講座
- 2010年3月2日「日本人的宗教信仰」, 中国：東南大学外国語学院学術講座
- 2010年6月19日「宗教から人間を科学する—参詣者の行動から見た恐山信仰—」, 第9期有備館講座 講師
- 2010年7月17日 「モノを通じて見た現代人の死生観」, 仙台ターミナルケアを考える会教育セミナー講師
- 2010年7月18日 「神仏分離期以後の飯豊山信仰 登拝習俗の盛衰をめぐって」ふるさとの山飯豊山を学ぶ講習会 講師
- 2010年9月11日 「祭りの機能論 宗教民俗学的考察」歴史シンポジウム「祈りとくらし 仙台の民間信仰」, 仙台市歴史民俗資料館, 講師
- 2010年10月09日 「生者と死者が出会う場所 - 霊地からみた東北の精神世界 -」(2010年東北みらいプロジェクト・仙台セミナー：講演・

伊集院静、平川新とパネルディスカッション)

- 2010年10月22日 「郷土の信仰」、仙台豊齢学園、講師
- 2010年11月13日 「東北地方の骨葬習俗」国立歴史民俗博物館第2回共同研究会
- 2011年05月22日 「宮城県の宗教者による支援と『心の相談室』」宗教者災害支援連絡会：第2回情報交換会、講師
- 2011年06月10日 「『心の相談室』のこころみ - 震災に対する超宗派的取り組み - 」日蓮宗宗務院研修会、講師
- 2011年07月02日 「現代日本人の死生観 - モノを通じて観念を知る - 」盛岡大学附属高校特進文化講演会、講師
- 2011年07月16日 「現代日本人の死生観 - モノを通じて観念を知る - 」夢ナビ講義ライブ、講師

【木村敏明】

< 委員 >

- ・宮城県岩沼市史編纂委員
- ・宗教文化教育推進センター運営委員

< 公開講座等の講師 >

- 2008年6月21日「インドネシアのキリスト教 多民族国家におけるその受容と現状」東北大学キリスト教青年会溪水寮講演会
- 2008年7月31日「わたしたちと宗教」東北大学オープンキャンパス公開講義
- 2009年9月5日「インドネシアから考えるわたしたちと宗教」斎理蔵の講座
- 2010年10月8日「日本人の自然観と宗教 「鯰絵」から見る」岩手県立釜石高校大学出前講座
- 2011年7月30日「震災体験の共有記録に向けて 東北大学震災体験記録プロジェクトの試み」みちのく図書館職員連合

【山田仁史】

< 委員 >

- ・海洋文化館展示アドバイザー
- ・味の素「食の文化フォーラム」委員

・岩沼市史調査執筆員

< 公開講座等の講師 >

2007年8月2日「口承文芸とその研究法」宮城県宮城野高等学校フロンティア・タイム

2008年2月18日「伊能嘉矩：『遠野物語』の先駆者」東北大学文学部有備館講座

2008年12月4日「精神史の沃野へ：文学部で学ぶ。宗教学を学ぶ。」宮城県仙台第二高等学校「一日大学」

2009年7月30日「神話からさぐる人類宗教史」東北大学文学部オープンキャンパス

2009年11月26日「首狩と神話から見た人類宗教史：文学部への招待」石巻好文館高等学校 第1学年出前授業

2010年6月25日・8月10日「神話と童話の研究法」宮城野高等学校「総合的学習の時間」

教員による学会役員等の引き受け状況（2007～2011年度）

【鈴木岩弓】

日本宗教学会常務理事（2007年～現在）

日本宗教学会情報化委員会委員（2008年～2011年）

印度学宗教学会会長（2007年，2010年～現在）

印度学宗教学会常任理事（2007年～現在）

東北民俗の会会長（2007年～現在）

「宗教と社会」学会常任委員（2007年）

「宗教と社会」学会編集委員（2007年～2011年）

日本民俗学会評議員（2007年～2010年）

日本民俗学会第62回年会実行委員会委員長（2009年～2010年）

【木村敏明】

日本宗教学会評議員（2007年～2010年）

日本宗教学会理事（2010年～現在）

日本宗教学会庶務委員会委員（2011年～現在）

日本民俗学会第62回年会実行委員（2010年）

印度学宗教学会常任理事（2005年～現在）

「宗教と社会」学会常任委員（2009年～2011年）

【山田仁史】

印度学宗教学会 評議員(2007年～現在)、常任理事(2008年～現在)

東北民俗の会 常任委員(2008年～2011年)

日本民俗学会第62回年会実行委員(2010年)

教員の教育活動

(1) 学内授業担当(2011年度)

1 大学院授業担当

鈴木岩弓

宗教学特論

宗教学実習 ・

課題研究

木村敏明

宗教学特論

宗教学研究演習 ・

宗教学実習 ・

課題研究

山田仁史

宗教人類学特論

2 学部授業担当

鈴木岩弓

宗教学概論

宗教学基礎講読

宗教学基礎演習

宗教学基礎実習

宗教学各論

宗教学演習

宗教学実習

木村敏明

宗教学概論

宗教学基礎実習

宗教学基礎演習

宗教学各論

宗教学演習

宗教学実習

山田仁史

宗教学講読

宗教人類学各論

3 共通科目・全学科目授業担当

鈴木岩弓

宗教学

木村敏明

キリスト教史

宗教科教育法

山田仁史

宗教科教育法

(2) 他大学への出講(2007～2011年度)

鈴木岩弓

宮城学院女子大学(2007, 2009, 2011年度)

国立インドネシア大学大学院学部客員教授(2007年10月～11月)

東北学院大学大学院人間情報学研究科非常勤講師(2008～2011年度)

木村敏明

宮城学院女子大学(2007～2011年度)